

「簡素で一元的な権利処理」の在り方に関する意見

1. 目指すべき方向性と留意すべき点

- 「論点」で示された方向性は、権利者探索や許諾手続きなどにかかるコスト全般の低減が期待されるものですが、具体的な方策の検討にあたっては、多様な権利者と利用者の意見を踏まえる必要があると考えます。

2. 想定される場面

- 過去の放送番組の活用は、権利処理にかかるコスト削減だけではなく、視聴者のニーズとコストとのバランスを含む事業採算性を検討する必要があるほか、人権面・内容面など番組内容を考慮する必要があるため、「簡素で一元的な権利処理」の実現により大幅な活用促進につながるかは不確かであると考えます。

3. 具体的な方策

(5) 現行の裁定制度の改善

- 裁定制度について、手続きの簡便化とともに、民間事業者についても一定条件を満たす場合に限り、補償金の供託免除とする方策の検討を要望します。

以 上